

平成29年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	山岸和美
	全体計画			経費区分	-	内線	3112
事務事業名	4032 庁舎管理事業						
所 属	050100 総務部・総務課						
施 策	07024400 市民と共に歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費					
	事業	050000 庁舎管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
庁舎機能の充実を通じ、市役所業務の円滑な執行と、市民をはじめ来庁舎の皆さまに快適な区間の提供を図る。				市役所庁舎の維持管理 ①市役所本庁舎、東庁舎、防災活動センター、備蓄倉庫、多目的広場、駐車場等の維持管理 ②市役所の当直業務の実施 ③快適な労務環境の維持			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
庁舎に来庁される皆様や職員に、安全で安心できる環境を提供するため、施設の管理及び整備を行う。	庁舎に来庁される皆様や職員に、安全で安心できる環境を提供するため、施設の管理及び整備を行う。 ・本庁舎エレベータを耐用年数満了により更新 ・庁舎照明のLED化
平成29年度 予定	平成30年度 予定
庁舎に来庁される皆様や職員に、安全で安心できる環境を提供するため、施設の管理及び整備を行う。 庁舎床の美化を図る。	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	市庁舎電気使用量の削減				
算式	電気使用量計				単位 kWh
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	335,870	335,870		335,870
	実績	374,916			
指標選定の理由	平成28.29年度まで前年度実績から3%削減（LEDの更新・庁舎照明のLED化）				
最終年度目標の根拠	(H27市役所庁舎年間電気使用量)346,258kWh×0.97=335,870kWh				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		49,262	52,733
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	3,054	2,474
一般財源		46,208	50,259
人員数(人)	正規職員	1.3	1.4
	嘱託職員	0.8	1.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	9,384.7	10,106.6
	嘱託職員	2,204.0	3,030.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	11,588.7	13,137.1
市民一人当たりの経費		1.2	1.3
総額		60,850.7	65,870.1

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	22,457	燃料費 3,248 電気料 7,593 水道料 1,263 修繕料 7,242 ほか
13節 委託費	15,008	施設管理委託 1,367 保守点検委託 2,293 電話交換業務委託 4,148 宿日直等業務委託 4,207 ほか
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	64	県冷凍空調保安協会負担金 32 講習会等出席負担金 26 ほか
その他	11,733	臨時職員賃金 3,933 設備点検等手数料 1,768 機器等賃借料 3,045 ほか

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	25,724	燃料費 3,114 電気料 9,000 水道料 1,400 修繕料 8,820 ほか
13節 委託費	15,195	施設管理委託 1,726 保守点検委託 2,324 電話交換業務委託 4,148 宿日直等業務委託 4,201 ほか
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	96	県冷凍空調保安協会負担金 32 講習会等出席負担金 58 ほか
その他	11,718	臨時職員賃金 4,045 設備点検等手数料 1,516 機器等賃借料 3,585 ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	安心・安全庁舎環境の保持のために必要。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	質の向上よりは、必要な環境を維持するためのものとなっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや悪化
評価コメント	老朽化による改修が多くなっている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

庁舎が老朽化しているため、改修費用が増加する。
省エネ対策を強化しているが、猛暑等の気候条件による冷暖房設備の使用増及び大型設備の老朽化に伴う稼働効率の低下等の要因により電気使用料が増加に転じてしまった。

